

春秋会 2021年度 3月総会 プログラム

2022年3月29日(火) 大阪弁護士会館 1001・1002号会議室
総会 18:00~19:30 司会 副幹事長 高江 俊名

- 1 開会挨拶 幹事長 濱田 雄久
- 2 春秋会 物故者を偲び黙祷 副幹事長 高江 俊名
- 3 議決事項
 - (1) 次年度幹事(副幹事長、全期幹事及び各期幹事)の選任決議 幹事長 濱田 雄久
 - (2) 次年度選考委員の選任決議 幹事長 濱田 雄久
- 4 法曹在職40年会員(33期)顕彰 8名(敬称略,五十音順)
岩田 研二郎 岡崎 守延 河村 利行 坂田 宗彦
田窪 五朗 梶田 喜代隆 中西 裕人 森下 弘
- 5 大阪弁護士会理事者挨拶・会務報告 副会長 村瀬 謙一
- 6 活動報告
 - (1) 2021年度活動報告 幹事長 濱田 雄久
 - (2) 各委員会活動報告
 - ア 選考委員会 委員長 濱田 雄久
 - イ 政策委員会 委員長 林 邦彦
 - ウ 研修委員会 委員長 原 正和
 - エ 広報委員会 委員長 広瀬元太郎
 - オ 親睦委員会 委員長 竹中 宏一
 - カ 若手会 世話役代表 吉村 友香
 - (3) 会計報告 副幹事長 奥野 祐希
 - (4) 報告事項に関する質疑応答
- 7 2021年度執行部退任挨拶、2022年度執行部就任挨拶
- 8 閉会挨拶 副幹事長 高江 俊名

※ 懇親会は開催いたしません ※

令和4年3月29日

2022年度副幹事長及び全期幹事のご推薦

2022年度幹事長 飯島奈絵

春秋会会則第5条第4項に基づき、2022年度副幹事長及び全期幹事について、次のとおり推薦致します。

(副幹事長)

松井 淑子
西原 和彦
西田 敦
渡部 真樹子
田積 祥子
富井 和哉

(全期幹事)

黒田 愛
中島 宏治
宮下 泰彦
峯田 和子
高江 俊名
岩本 朗
村瀬 謙一
荒木 晋之介

2022年度 各期幹事

修習期	氏名	修習期	氏名
11	小林つとむ	58	奥村昌裕
12～17	久保井一匡	59	藤内健吉
18～20	山下潔	60	河野雄介
21～23	森野俊彦	60	小坂梨緑菜
24～26	中川秀三	60	佐々木章
27～29	木内道祥	61	東尚吾
30	早川光俊	61	藤井恭子
31	澤田隆	62	舘康祐
32	的場俊介	62	野矢伴岳
33	河村利行	62	福田美紀
34	青本悦男	63	福崎浩
35	斉藤真行	63	藤原智恵
36	松田繁三	64	菰口高志
37	池谷博行	64	原田隆之介
38	横山精一	65	両角麻子
39	田島義久	65	竹内昭夫
40	岩城穰	66	堀智弘
41	七尾聡	66	守田恵
41	日高清司	67	細田直人
42	峯本耕治	67	安原邦博
43	谷英樹	68	手代木啓
44	井上洋子	68	吉留慧
45	中嶋弘	69	高橋誉幸
46	島尾恵理	69	中原大雄
47	蕙井順子	70	小野隆大
47	原野早知子	71	永井大稀
48	岡本岳	71	永田順子
49	河野豊	72	川村遼平
49	北岡弘章	72	岩崎翔太
50	有村とく子	73	有本喜英
51	尾崎一浩	73	伊賀友介
52	増田尚		
53	吹矢洋一		
54	井上耕史		
55	今春博		
55	飛岡恵美子		
56	植村弘樹		
57	溝上絢子		
57	堀川智子		

2022年3月15日

2022年度選考委員候補者のご報告

幹事長 濱 田 雄 久

選考委員会規則第2条第1項第2号に基づく2022年度選考委員の選任に関し、同規則第3条に基づき、次のとおり組分けをし、本年3月9日を投票締切日として郵便による投票を実施しました。その結果に基づき、次のとおり候補者を定めましたので、ご報告致します。

1 書面投票について

- ・ 1組：9期～22期（44名，有効投票17通）
- ・ 2組：23期～31期（49名，有効投票27通）
- ・ 3組：32期～38期（48名，有効投票18通）
- ・ 4組：39期～44期（51名，有効投票33通）
- ・ 5組：45期～49期（55名，有効投票30通）
- ・ 6組：50期～55期（59名，有効投票42通）
- ・ 7組：56期～59期（54名，有効投票34通）
- ・ 8組：60期～61期（52名，有効投票30通）
- ・ 9組：62期～64期（66名，有効投票38通）
- ・ 10組：65期～67期（62名，有効投票33通）
- ・ 11組：68期～70期（48名，有効投票15通）
- ・ 12組：71期～73期（56名，有効投票17通）

2 開票結果

同規則第3条第5項に基づいて本年3月10日に開票した結果，得票の多い順に（同一得票者があり，当選者が定数を上回る場合には，それらの得票者につき抽選で決定しました。）次のとおり候補者を定めました（期順，敬称略）。

・ 1組（9～22期）

山下 潔，大川 真郎，山田 庸男

・ 2組（23～31期）

金子 武嗣，三木 俊博，山口 健
一

・ 3組（32～38期）

岩田 研二郎，国府 泰道，西村
健

・ 4組（39～44期）

中井 洋恵，青木 佳史，吉田 之
計

・ 5組（45～49期）

中嶋 弘，島尾 恵理，岩本 朗

・ 6組（50～55期）

有村 とく子，小橋 るり，増田
広充

・ 7組（56～59期）

青砥 洋司，奥津 周，小野 順子

・ 8組（60～61期）

笠原 麻央，川崎 真陽，佐々木
章

・ 9組（62～64期）

遠地 靖志，片岡 牧，河田 智樹

・ 10組（65～67期）

上田 浩史，飯田 亮真，石田 明
子

・ 11組（68～70期）

網本 知晃，清水 亮宏，根本 俊
太郎

・ 12組（71～73期）

足立 敦史，上林 恵理子，北本
純子

以 上

令和 4 年 3 月 2 9 日

法曹在職 4 0 年会員顕彰

法曹在職 4 0 年会員顕彰の対象会員は以下の会員である。

岩田 研二郎

岡崎 守延

河村 利行

坂田 宗彦

田窪 五朗

厩田 喜代隆

中西 裕人

森下 弘

以上 8 名

春秋会3月総会 今年度執行部の取組状況と私の活動について 副会長 村瀬 謙一

今年度執行部は、前年度のスローガンである「誰一人取り残さない、あらゆる人に弁護士の力を」を継承し、種々の課題に取り組みました。その状況の概要を報告いたします。

1、コロナ禍の中での会館運営等の取り組み

感染症に対する感染対策の浸透や、国や自治体の指針の変更などもふまえ、会内での取り扱いについて、いくつかの変更を行いました。

- ・ 6階の窓口対応時間の変更（ほぼ、コロナ禍前どおり）
- ・ 23条照会受付と回答書の交付を郵送と窓口併用方式とする。
- ・ 会館会議室定員の若干の緩和
- ・ 6階窓口での各種証明書、職務上請求用紙についての郵送請求・交付

2、会務執行方針の実施状況

- ・ 令和4年4月の成人年齢引き下げに向けての啓発活動（広報室、消費者、法教育で連携）

啓発グッズの作成、啓発グッズからQRコードでアクセス可能な啓発サイトを準備し、そのサイトでは、成年年齢引き下げに関連するQ&Aや啓発動画を掲載しています。また、弁護士会の相談センターへの電話番号を掲載し、18歳～22歳法律相談は30分無料。

- ・ SDGsの理念と結びついているスローガンに関する取り組み

SDGsブームといわれる状況もある中、いろいろなご意見があろうかと思いますが、弁護士会の活動を対外的にアピールする機会でもあることから、SDGsのゴールやターゲットと弁護士会の活動を結びつけた広報に取り組みました。憲法記念行事では、日本国憲法を若者を中心とする市民に再認識していただくべく、SDGsの理念は既に日本国憲法の中にあること、SDGsの理念を実現するべく弁護士会が活動していることをアピールするものを企画を実施、約200名の参加を得て、当会のYouTubeサイトにも掲載中。

- ・ 各種Web相談の試行実施と本格実施へ

臨時の相談企画において、Zoom相談を試行的に実施したほか、常設のZoom相談の体制を構築し、3月中旬からの予約受付を開始しました。相談料を振り込みによる前払いをしていただく関係で、予約受付から相談実施日まで一定の間隔が空くのが悩ましいですが、大きな一歩を踏み出しました。

- ・ 育児期間中の会費免除を含めた各種会費免除規定の整備

育児期間中の子育てを支援する観点等から、育児期間中の会費免除にあたり、休業要件を撤廃しました。あわせて、会費の免除には様々な理由があり、規定が分散していました。常議員会で取り決めた準則により免除を行う枠組もありました。これを整理し、総会によって取り決めた会則上に根拠を置いて、各種の免除を行うことといたしました。

- ・ 会館の環境整備

新総合情報システム稼働開始にあたり、種々の不具合や、より使いやすくするための改修作業や、会館内の各種補修、Wi-Fi通信環境の向上、老朽化した電話器・防犯カメラの交換、地下電源問題への検討など、担当の副会長の奮闘により、数年来の課題に取り組みました。

- ・ 内部統制

昨年度発覚した職員の不祥事を契機として、内部統制制度をチェックし再構築を図りま

した。外部の専門家の意見も踏まえ、職員の業務マニュアルの見直し、監事監査規則制定と監事監査マニュアル等を整備しました。

3、会内の意見集約

「法曹人口政策に関する当面の対処方針」の取りまとめ、民訴法改正における「新たな訴訟手続き」に関する意見、弁護士の情報セキュリティ規程など、会内で意見が分かれそうなテーマが多数ありました。

各委員会には意見照会に協力いただき、賛否両論がある中で、常議員会で議論していただき、反対意見、少数意見にも配慮しつつ、意見集約を行いました。

その結果、日弁連において当会の意見が考慮されることもしばしばあり、存在感を示すことができたとのことです（伝聞）。

～私の活動について

1、会長声明、人権救済の執行（目に見える形に残るので振り返ると感慨深い）

- ・ 出入国管理及び難民認定法改正案に反対する会長声明
- ・ 建設アスベスト最高裁判決を踏まえ、国及び建材メーカーらによる積極的な救済措置及び被害防止対策を求める会長声明
- ・ 民法750条の改正と選択的夫婦別姓制度の導入を求める会長声明
- ・ 大阪府警に人権救済勧告（通院時に手錠が見えない措置を、プライバシー侵害）
- ・ 大阪府警に人権救済要望（被収容者の給水に基準を。求めには応じること）
- ・ 死刑執行に抗議し、死刑制度の廃止を求める会長声明
- ・ 大阪市北区曽根崎新地で発生した火災につき、被疑者とされる男性の実名等の報道等に関する申入書
- ・ 大阪市鶴見区に人権救済警告（生活保護の被保護者への増収指導や妊娠・出産に関する指導に問題あり）
- ・ 堺市に人権救済要望（障害に関する配慮を欠いた）
- ・ 大阪刑務所に被収容者護送時の手錠腰縄併用に関する申入書
- ・ 大阪拘置所に人権救済勧告（被収容者の民事訴訟出廷権の侵害）
- ・ 国に人権救済勧告（レッドパーズで思想良心の自由の侵害、生活を奪う）

2、郊外に事務所を持つ者、小規模事務所の者の視点は、前記の窓口対応の検討などをはじめとする会務に一定の反映が出来たのではないか

3、知らないことも多く、戸惑いや緊張も多かったのですが、春秋会の皆様に支えられ、多くの精力的な活動を拝見することが出来たことは、貴重な財産になりました。なかには、あまり役に立てなかったものもあるのかもしれませんが、私からはどの委員会に対しても、関わらせていただいたことに感謝をしたいと思います。

4、さいごに

春秋会推薦の副会長として、頑張れたかどうかの評価は皆さんにお任せいたしますが、たくさんの励ましやご協力をいただいたこと、貴重な機会を与えていただいたことに深く感謝いたします。本当に一年間ありがとうございました。

春秋会 2021年度 活動報告（概括）

2022年3月29日

幹事長 濱田 雄久

1 2021年度の春秋会

会員数649人（2022年3月22日現在）。

本年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大により、リアルでの会合の実施に支障が生じた。しかし感染拡大の合間を縫う形でのリアルのイベントやオンラインでの会議、イベントを行うことにより、幹事会や選考委員会、総会等の会議のほか、研修、親睦等の各企画も活発に実施することができた。また今年度特筆すべきなのは、次年度大阪弁護士会会長に福田健次会員を送り出すことができたことである。

新型コロナウイルスの影響は現時点でも予測が困難であるが、次第に社会は正常化すると考えられる。次年度以降も、さらなる活発な活動が期待される。

2 各活動の概況

1) 総会（年3回）

9月総会 9/24 出席28 委任状166 (Web 16)

12月総会 12/21 出席44 委任状160 (Web 19)

3月総会 3/29

Zoomミーティングの機能を利用して、遠隔からの傍聴を可能とした。

2) 幹事会（月1回、12時～13時）

4/23（出席32）、5/25（同32）、6/29（同27）、

7/30（同26）、8/24（同30）、9/17（同41）

10/26（同27）、11/26（同24）、12/17（同23）

1/25（同21）、2/22（同26）、3/15（同27）

Zoomミーティングの機能を利用して、遠隔からの出席を可能とした。

3) 正副幹事長会（月1回、12時～約1時間）

Zoomミーティングの機能を利用して、Web会議の方法で実施した。

4) 各種委員会

別途各報告あり

5) 年間の主要な行事

会長副会長当選祝賀会・新年会（22/01/25 Zoom）

※ 前年度役員慰労会は延期した。

3 財政・会計 ※ 具体的内容は別途会計報告を参照

- 1) 支出 会報の春秋号双方の電子化その他により発行費用を削減
このほか、リアル会合の減少の影響あり
- 2) 収入 例年なみ

4 大阪弁護士会等の会務への協力

- 1) 各企画行事への参加協力
- 2) 各種委員会委員長、副委員長、委員の推薦
- 3) 家事調停委員等の推薦

※ 具体的な本年度の実績は別紙を参照

5 本年度行った特筆すべき課題

- 1) 会長推薦
- 2) 広報誌の春秋双方の電子化
- 3) 法曹人口に関するオンライン討議
- 4) 各期幹事の期の統合
- 5) 会長推薦候補者と若手とのオンライン懇談会

6 次年度に引き継いだ課題

- 1) 新人歓迎旅行の実施
- 2) 広報誌の電子化の継続・検討
- 3) 各期幹事の期のさらなる統合
- 4) 無会派（900人余り）会員の会派への組織化
- 5) 総会オンライン出席の可否の検討

以上

(別紙)

2021年度 大阪弁護士会会務等への協力 実績一覧

1 弁護士会会務への参加協力

- ・大弁総会(6/30)
- ・日弁連定期総会(6/11)
- ・近弁連大会(11/19)
- ・日弁連臨時総会(12/3)
- ・大弁臨時総会 (3/8)

2 弁護士会各委員等の推薦(代表的なもの)

(各種役員)

- ・会長 1人
- ・副会長 1人
- ・常議員 10人
- ・日弁連代議員 6人
- ・近弁連理事 5人

(委員会委員長等)

- ・司法修習委員会 委員長 1人
- ・司法委員会 委員長 1人
- ・広報委員会 委員長 1人

(委員会委員等)

- ・綱紀委員
- ・資格審査委員
- ・市民窓口担当員
- ・司法修習委員
- ・運動会実行委員
- ・23条小委員会(司法委員会)
- ・紛議調停委員
- ・公益活動推進委員
- ・選挙立会人
- ・民事裁判改善に関する若手法曹の懇談会出席者
- ・「会員サポート窓口」相談員

- ・企画調査室嘱託

3 弁護士会推薦委員の推薦(代表的なもの)

- ・民事調停委員
- ・家事調停委員
- ・交通事故紛争処理センター委員

2022年3月29日

2021年度 選考委員会活動報告

選考委員会

委員長 濱田雄久

1 上半期の活動報告（9月総会，12月総会においてご報告済み）

次年度（2022年度）の大阪弁護士会会長および副会長の推薦候補者の選考に関し、本年6月1日から6月11日までを推薦候補者の届出期間と定めたところ、上記届出期間中において、福田健次会員（36期）から大阪弁護士会会長の推薦候補者の届出が、黒田愛会員（47期）から大阪弁護士会副会長の推薦候補者の届出がそれぞれありました。

そこで、会長及び副会長の推薦候補者についての選考手続を行い、7月26日の第2回選考委員会において、両会員による意見表明の後、選考委員会規則第11条1項により、投票で推薦を決することとしました。

同月27日から8月6日までを推薦の可否に関する書面投票期間とし、同月10日午後3時、弁護士法人なにわ共同法律事務所において、選考委員会委員長濱田雄久、及び春秋会嘱託弁護士小野宙の立ち会いのもと、開票しました。

開票の結果、投票総数・有効投票総数の全員一致でもって、両会員を大阪弁護士会会長及び副会長の推薦候補者として選考することを可とするとの投票結果が得られました。

そのため、福田健次会員を大阪弁護士会会長の推薦候補者として、黒田愛会員を大阪弁護士会副会長の推薦候補者としてそれぞれ選考することに決しました。

2 下半期の活動報告

2023年度副会長推薦候補者、及び2024年度以降の副会長推薦候補者に関する意見交換を行いました。

その後、Googleフォームを用いる方法により、本年度選考委員を対象として、2023年度以降の役員（主に副会長）推薦候補者として相応しいと考えられる会員に関する匿名アンケートを実施し、選考委員会内において結果を共有しました。

以上

政策委員会活動報告
(2021年年度末総会)

2022年3月29日

政策委員長 林 邦彦

第1 政策委員会の日程

4/20、5/21、6/22、7/1、7/14、7/27、8/18、9/14
9/27、10/11、10/21、11/5、11/25、12/24

第2 2021年度の活動

1 意見交換会

「先輩会員と若手会員との意見交換会 ―ちょっと言いたいねんけどー」

先輩会員：福田健次会員、黒田 愛会員

第1回 7月12日17時～ 参加者：45名

第2回 7月21日12時～ 参加者：35名 いずれも ZOOM 開催

2 政策シンポジウム 9月22日(水) 18時から20時

「広報で もっとつながる 弁護士会

― アピールちょっと 足らんのちがう? ―

大阪弁護士会館 12階1203号 及び ZOOM

パネリスト 高橋 司 弁護士 (広報室室長),

水野晶子 氏 (フリーアナウンサー・朗読家)

蝶野弘治 弁護士 (遺言・相続センター運営委員会委員長)

福田健次 会員

コーディネーター 黒田 愛 会員

3 政策シンポジウム 11月11日(木) 18時から20時

『人権で もっとつながる 弁護士会』

― 新たな視点で やってみようよ ―

場所 大阪弁護士会館 12階1203号 及び ZOOM

パネリスト 大橋さゆり 弁護士 (外国人に関する法的サービス推進 PT 法友倶楽部)

山浦美紀 弁護士 (経営法曹会議会員 一水会)

大畑亮祐 弁護士 (子どもの権利委員会委員 五月会)

繁松祐行 会員 (災害復興支援委員会委員・大阪アスベスト弁護団)

黒田 愛 会員 (国際委員会ハーグ条約問題検討 PT 委員)

コーディネーター 福田健次 会員

3 2回のシンポの電子書籍発行 (1月5日)

2022年3月29日

研修委員会活動報告

研修委員長 原 正和

第1 本年度実施した研修

1 第1回研修企画「リモートワークの運動不足解消に～筋トレ・ストレッチ研修」

- ・6月4日(金)12時～13時@リアルとZOOM
- ・出席者はリアルとZoomを合わせて約30名。
- ・担当委員は、別所、中村。
- ・講師は、安田 旬輝 様 (パーソナルトレーナー)、
丸尾 安葉 様 (元ヨガインストラクター)。
- ・講師の方に、リモートワークの合間や自宅でも簡単にできる筋トレやストレッチ等を、実演を交えながらお話し頂いた。
- ・「リフレッシュ」をテーマとする本年度研修委員会の1回目の企画として、大変良い企画になったと思う。

2 第2回研修企画「落語家に学ぶ、弁護士のための話し方教室～落語実演つき」

- ・8月4日(水)午後6時～8時@リアルとZOOM
- ・リアル出席者約20名、Zoom出席者約30名。
- ・担当委員は、中村。
- ・講師は、桂あおば様。
- ・依頼者の心をつかむ話し方など、弁護士業務を行ううえでも大変有益な話を沢山聞かせて頂いた。手前みそながら、大変有意義で楽しい企画だったのではないかなと思う。

3 第3回研修企画「行列のできる！着こなし相談所」

- ・10月26日(火)18時～20時@リアルとZOOM
- ・出席者は、リアルとZoomを合わせて約35名。
- ・担当委員は、中原、青木晶子、有本。
- ・講師は、阪急メンズ大阪パーソナルサービス部 スタイルメイキングクラブ
西ヶ峰 充宏 様
- ・ファッション、おしゃれ、着こなし等について、盛りだくさんの内容を楽しくお話し頂いた。
- ・講師の方は時間切れだったことを大変残念がっておられ、「続き」をしたいと仰っていたので、来年度の研修委員会でも是非企画して頂ければと思う。

4 第4回研修企画「福田先生、黒田先生にお聞きする『難しい依頼者』との付き合い方」

- ・12月2日(木)18時～19時30分@リアルとZOOM
- ・リアルとZoomを合わせ、40名を超える方にご参加頂いた。
- ・担当委員は、浦、青木晶子
- ・福田先生と黒田先生から、大変貴重で勉強になるお話を沢山お聞きした。また、両先生のお人柄もよく伝わる内容であったと思う。

5 第5回研修企画案「弁護士必見！『不動産鑑定士の使い方』」

- ・3月1日(火)18時～19時30分@リアルとZoom
- ・リアルとZoomを合わせ、約25名の方にご参加頂いた。
- ・担当委員は、別所と原。
- ・講師は、不動産鑑定士の山本祐一郎先生と横地寿美子先生
- ・熱意ある若手不動産鑑定士の先生方から、不動産鑑定士の仕事・役割や鑑定評価書の見方など、不動産鑑定に関する基礎的な内容について、レクチャー形式とパネルディスカッション形式で有意義なお話を沢山聞かせて頂いた。

第2 研修委員会の開催日

4月16日、5月11日、6月15日、7月15日、8月17日、9月7日、10月8日、11月9日、12月7日、1月19日、2月15日（以上11回）

第3 本年度研修委員会の総括

本年度の研修委員会のモットーは、「楽しくリフレッシュできる研修を企画する」でした。皆さん、コロナ禍でストレスが溜まっていると思われることから、また弁護士会が有意義な研修企画を揃えていることから、会派の研修委員会ならではの、ちょっとくだけた楽しい企画をすることを心掛けました。本年度、上記の5つの企画を開催することが出来たのは、ひとえに、研修委員会のメンバーと中村副幹事長のご協力と人脈のおかげです。あらためて、本当にありがとうございました。

以上

2022年3月29日

広報委員会活動報告

広報委員長 広瀬元太郎

1 委員会メンバー

委員長以下 16名

委員長 広瀬元太郎（60期）

有村とく子（50期）、中森俊久（55期）、山口昌之（58期）、木場晶子（67期）、田村瞳（67期）、吉留慧（68期）、信吉将伍（69期）、高一成（69期）、根本俊太郎（70期）、佐久間ひろみ（71期）、足立敦史（71期）、村本健司（71期）、河野哲平（71期）、才木晴幹（72期）、久井大輝（73期）（敬称略）

2 ニュースレター発行日、委員会開催日

	ニュースレター	委員会開催
4月	4月6日	4月16日
5月	4月7日	5月13日
6月	5月31日	6月10日
7月	7月1日	7月13日
8月	8月4日	8月20日
9月	9月3日	9月10日
10月	10月5日	10月15日
11月	11月9日	11月12日
12月	12月1日	12月9日
1月	1月11日	1月14日
2月	2月9日	2月18日
3月	3月3日	3月11日

※ニュースレターの充実を図るために、面白い記事、読ませる記事を積極的に掲載

3 春秋会会報春号

3月29日電子版UP予定

4 電子媒体閲覧状況（3月11日現在）

- (1) 2021年度秋号 2073PV（政策誌と混ざってます）
 (2) ニュースレター（3月号）：354PV

発行号別 P V 数

月号	P V
4月	465
5月	880
6月	540
7月	722
8月	523
9月	530
10月	401
11月	300
12月	487
1月	442
2月	364
3月	354
合計	4,610

5 会報の発行コスト削減（通年ベース） (千円)

	電子化前 (H28)	R2	R3 予測 (9月報告)
製作費用	5,203	1,726	998
印刷版作成費用		711	264
チラシ作成費用	0	230	115
合計	5,203	2,667	1,377

- ・業者の変更により、会報前年比で製作コスト（▲48%）
- ・電子化前に比べて（▲74%）
- ・H28の製作費用にはHP費用含まず
- ・R2とR3の製作費用にはHPアップ費用(年1万)含む

6 来期以降の課題

- ・委員長、委員が原稿督促、修正等の作業にかかる時間は膨大。
業務時間を無償労働に割かれるのは、他の会員と比べ不公平。
本気で考えないと手がいなくなる。この種の作業をさせられるからという理由で会派への所属を敬遠する者も出てくる。
趣味や自己実現の範囲を超えており、そろそろ真剣な議論が必要。

以上

総会報告（親睦委員会）

令和 4 年 3 月 2 9 日

親睦委員長 竹 中 宏 一

第 1 本年度開催行事

- 1 オリックス戦観戦（京セラドーム・ビスタルーム）
8月21日開催 参加者15名
- 2 劇団四季・「リトルマーメイド」観劇
9月11日開催 参加者19名
- 3 新年会兼福田先生・黒田先生当選祝賀会（ZOOM開催）
1月25日開催 参加者約50名
- 4 劇団四季・「オペラ座の怪人」観劇
3月12日開催 参加者30名

第 2 本年度の振り返り

- ・コロナの影響で企画を立てづらい状況が続いた。
- ・コロナの感染者増加を受け、新人歓迎旅行が二度延期となる。
- ・若手委員が積極的に協力してくれ、一丸となって企画の準備に取り組めた。
- ・オリックス戦のビスタルームでの開催、新年会での有名人の御祝いメッセージといった新しい取り組みを行うことができた。
- ・懇親会を開催することがコロナの影響で難しかった。

第 3 次年度に向けて

- ・本年度の多くの委員が次年度も引き続き担当してくれる予定。
- ・コロナと向き合いながらも、会員相互の関係が希薄とならないように、親睦を深めることができる企画を実施していただいたい。

以 上

親睦委員会 2021年度事業計画書（実績）

	事業名等	予算案		実績	備考（適宜、内訳等を記載して下さい。）
		実施の時期	予算		
1	劇団四季観劇（リトルマーメイド）	9月	60,000	60,000	チケット代補助
2	吉本新喜劇観劇	9月～11月	60,000		開催に至らず
3	陶芸	10月～12月	100,000		開催に至らず
4	スポーツカート	10月～12月	110,000		開催に至らず
5	スポーツ観戦（オリックス戦観戦）	7月	60,000	22,060	飲食代
6	新年会・会長・副会長当選祝賀会	1月～2月	200,000	0	会場開催からZOOM開催に変更。会場キャンセル料は免除
7	その他（状況に応じた企画） 劇団四季観劇（オペラ座の怪人）	3月	350,000	95,010	チケット代補助、チケット送料、振込手数料
	小計		940,000	177,070	
8	新人歓迎旅行	10月2日、3日	2,150,000	212,500	旅行キャンセル料

春秋会 3 月総会 若手会報告

2022.3.23

報告：若手会世話役代表 吉村友香

1 世話役メンバー

- 片山直弥 弁（65）
- 西川正樹 弁（67）
- 別所大樹 弁（69）
- 稲生貴子 弁（70、代表副幹事）
- 杉野龍太 弁（71）
- 谷本英雄 弁（71）
- 川村遼平 弁（72、会計）
- 吉村友香（65、世話役代表）

2 4月～12月までの活動報告

（1）若手会世話役の持ち方

月1回の会議

この間は、ZOOM 会議しか開催できていない

懇親会等はできていない。

（2）研修

① 6月24日 破産研修（同時廃止） 講師：浦先生

開催方法：基本的に ZOOM、講師・世話役（2～3名）だけ弁護士会。懇親会はなし。

② 9月30日 破産研修（管財） 講師：浦先生

開催方法：1回目研修と同じ

（3）その他企画

11月27日 会派対抗若手会ゴルフ大会 春秋は4位

1月13日 「若手弁護士だけの何でも座談会～新サイトってどうやって使う？事件の取り方・増やし方、事件のこと事務所のこと相談・愚痴何でも意見交換」
福田先生にもご参加いただきました。

・当日は、ZOOM ではなく、お店を貸し切って、食事も取りながら和気あいあいとした雰囲気で開催することができました。

- ・感染対策もしながら（一定人数に制限、座席を工夫）

2月

- ・事務所訪問企画・先輩弁護士との交流会、接客のプロから学ぶ接客術企画→コロナで開催見送り
- ・スポーツカート
親睦委員会とのコラボ企画
コロナで開催見送り

(3) 3月

- ・62期～65期の若手会追い出し・新人歓迎会
→コロナで見送り

以上

2021年度 予算執行状況 経過報告書

資料 1 3

2021年4月2日～2022年3月22日（11ヶ月間）

		予算額	執行状況	執行割合	備考
収入					
	会費	10,000,000	9,930,000	99.30%	※2021年度会員数（668名）（R3.4.1時点の会員に納入義務） ※2021.3.22時点（減免対象者数63名）
	特別拠出金	2,000,000	1,630,000	81.50%	※2021.3.22時点
	懇親会会費等収入	0	0	-	
	選挙予納金戻金	1,045,000	60,000	5.74%	※選挙予納金が一部還付予定
	その他		290,000		※親睦委員会 観劇チケット代預り金 240000円 ※名簿未登録会員 会費30000円 ※二重会費納入 未返金20000円
収支計		13,045,000	11,910,000	91.30%	
支出					
経常費		2,390,000	2,191,985	91.71%	
	施設費	250,000	155,760	62.30%	※会議室使用料（幹事会、選挙委員会、総会等、各期幹事会）
	通信費	640,000	594,144	92.84%	※FAX一斉送信費用（1回あたり約16,000円 1枚24円）、ドロップボックスライセンス料、zoomライセンス料
	嘱託報酬	1,320,000	1,210,000	91.67%	※月額110,000円
	事務費	150,000	213,821	142.55%	※コピー代等
	その他支払手数料	30,000	18,260	60.87%	※振込手数料等
政策委員会		2,000,000	313,352	15.67%	
	意見交換会費用	260,000	36,300	13.96%	※3回分（通信費/資料作成費60,000円、講師謝礼100,000円、会議室費100,000円）
	政策シンポ実施費用	1,740,000	277,052	15.92%	※年1回（11月頃）実施 通信費/資料作成費140,000円、講師謝礼交通費200,000円、会議室費100,000円、反訳費用100,000円 ※会報とは別での報告書等の作成を想定 1,200,000円
広報委員会		2,680,000	1,267,917	47.31%	
	会報（春号・秋号）	2,250,000	982,268	43.66%	秋、春号とも電子版、製作費用減額予定
	ホームページ・サーバーレンタル費	30,000	60,720	202.40%	※サーバーレンタル費年額3,100円（H30.1～年間契約）、ドメイン更新料1,408円、振込手数料含む
	ホームページ改修等費用	100,000	0	0.00%	公開、非公開エリアの修正等
	取材費用	300,000	224,929	74.98%	
研修委員会		400,000	218,410	54.60%	
	研修費用	400,000	218,410	54.60%	1回あたりの研修における講師報酬及び会場費¥60,000～70,000×6回＝¥360,000～420,000
親睦委員会		940,000	87,070	9.26%	
	親睦費	940,000	87,070	9.26%	
若手会		1,110,000	900,000	81.08%	
	若手会補助金	900,000	900,000	100.00%	※渡切り、独自会計。
	担任制補助金	210,000	0	0.00%	※73期18名+新規登録3名 1名当たり1万円
新人歓迎旅行		2,150,000	212,500	9.88%	
	71期歓迎旅行補助金	2,150,000	212,500	9.88%	※73期18名+新規登録3名 1名当たり10万円+予備費5万円 ※執行費用はキャンセル料
その他		1,930,000	1,300,316	67.37%	
	行事参加促進費	250,000	0	0.00%	※2018年度新設
	選挙予納金	1,100,000	1,180,000	107.27%	※会長候補者推薦年度は、通常予算60万円に加えて50万円を計上
	慶弔費	250,000	85,316	34.13%	※慶弔規則による（香典、独立祝い等）
	登録40周年記念品	80,000	0	0.00%	※慶弔規則による（2021年度33期8名）1人10,000円
	懇親費	250,000	0	0.00%	※総会後の懇親会費補助等
	その他（予算計上でできていなかったもの）	0	35,000		7会派合同研修 負担金
支出計		13,600,000	6,491,550	47.73%	
8月末収支差額			5,418,450		
2020年度からの繰越金			18,398,896	-	※2020年度からの引継ぎ(R3.4.8)
			23,817,346	-	※2022.3.22時点 預金残高23,817,346